





日本赤十字社

# 鼻の手術を受けられる ( )さま <全身麻酔> (鼻中隔矯正術+粘膜下鼻甲介骨切除術)

主治医は、 \_\_\_\_\_ です  
病棟師長は、 \_\_\_\_\_ です  
担当看護師は、 \_\_\_\_\_ です

月・日・曜日	手術前日	手術日 / ( )		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目/退院日		
	/ ( )	手術前	手術後	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )		
食事・栄養	普通食です 	麻酔科の指示により ( )時から、食べられません ( )時から、飲みません	翌日の朝まで食べられません 医師の指示により、飲水できます 術後最初の飲水は看護師が見守ります	朝は、粥食が出ます 昼から普通食が出ます 						
安静度	自由に活動できます	【手術室に行く前に】 排尿をすませ、看護師の準備した手術着と弾性ストッキングを着用します  それまでは特に制限はありません	医師の指示により、トイレ歩行できます  術後最初の歩行は看護師が付き添います	朝から歩行できます						
清潔	シャワー浴できます  手術前日に、シャワー浴をしてください	入浴はできません  歯磨きをしっかりとってください	うがいをしましょう 	発熱・出血がなければシャワー浴・洗髪できます	タンポンガーゼ抜去をした当日はシャワー浴は控えて下さい	タンポンガーゼ抜去後、出血がなければ入浴できます				
治療・点滴・服薬		午前中、点滴を1本行います 	抗生物質と止血剤の点滴を行います   点滴は翌朝まで続ける場合があります	抗生物質と止血剤の点滴を(9時頃)と夕方(16時頃)に行います 	術後3日目から診察後に診察室で吸入を行います	医師の指示があれば、点滴が内服薬に変わります 				
処置	弾性ストッキングのサイズを測定します	処置後、鼻をかんだティッシュなどのゴミは、看護師が用意したビニール袋に入れて下さい(鼻内にガーゼが入ります。ガーゼが抜けたり、喉に出てきた時には必ずお知らせ下さい。)	痛みに対して、鎮痛剤を使用しますので、我慢せず看護師までお知らせください  酸素マスクをつけます しっかり深呼吸してください  血液は飲み込まずに出して下さい  血のついたティッシュはビニール袋に入れて下さい	毎日、午前中に耳鼻科処置室で診察を行います(金曜日のみ午後となります) 手術後3日目より、診察後に吸入を行います(タンポンガーゼ抜去日は除く)  手術後2日目に鼻のタンポンガーゼを抜きます タンポンガーゼ抜去日は処置約1時間前に痛み止めの坐薬を入れます	【退院日】8時45分～  耳鼻科外来にて退院診察がありますので、朝食後、外来へお寄り下さい (外来の看護師に声をかけてください)  ※水曜日・土曜日・日曜日は病棟で診察を行います					
検査				手術後に採血や検尿などの検査があります。検査については適宜お知らせします。						
説明・指導など	麻酔科受診があります 手術室の看護師が訪問します  常用している薬があれば、お知らせください  主治医から手術の説明があります	手術室に行くまでに、化粧・マニキュアは落とし、メガネ・コンタクトレンズ、ピアス、ヘアピン、ネックレス、指輪や時計などの金属類や義歯ははずし、大切に保管しておいて下さい  髪の毛の長い方は、ゴムで結髪しておいて下さい  ご家族の方は、手術室には入れませんので、病棟でお待ちください  病棟を離れるときは看護師に声をかけてください  手術終了後、医師より経過説明があります		【手術後に起こりやすい症状】  <出血> 口腔内の血液は飲み込まず、吐き出すようにしましょう  赤い血液が続くようでしたら、看護師へお知らせください  鼻の入口の綿栓が汚れたら、交換するようにしましょう(綿栓は手術当日にこちらでご用意します)  <痛み> 鼻の奥のガーゼは触らないようにしましょう  鼻は、両方いっぺんに強くかまず、片方ずつやさしくかみましょう 				(退院後の注意事項)  次回外来日までは禁酒・禁煙を続けましょう  その後については外来受診日に再度確認しましょう  水泳は医師の許可を得てからにしましょう  次回受診日( / ) 		

\* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずねください。